

資料 ①

平成24年度

一般会計

当初予算案の概要

市長選挙を控えた『骨格型』予算

京丹後市

平成24年度予算編成

◆「骨格型」予算の編成

平成24年4月に市長・市議会議員選挙が予定されているため、経常的・継続的事業を中心とした『骨格型』の予算編成
～6月定例会の補正予算で政策的な事業などを肉付け計上（予定）～

◆総合計画との整合

第1次京丹後市総合計画・後期基本計画に掲げる将来像
「ひと みず みどり 歴史と文化が織りなす交流のまち」実現に向け、
引き続き、事務事業を実施

◆合併特例措置廃止等への準備

普通交付税等の合併特例措置の逡減等に備え『合併特例措置逡減対策準備基金』へ
5億円を積み立て（平成24年度末 15億円）

予算の規模

一般会計予算

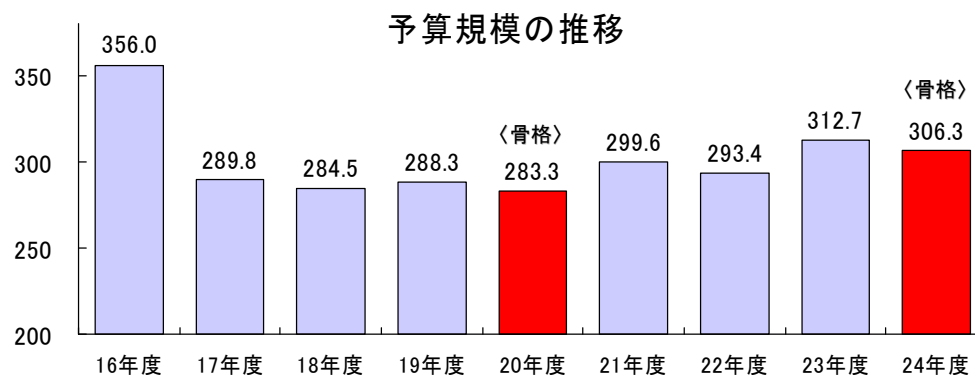
306億3,000万円

《市長選挙を控えた
骨格型予算を編成》

(H23 312億6,500万円)

対前年度 $\Delta 2.0\%$

億円



【参考】
地方財政計画 $\Delta 0.8\%$

※16年度は合併による旧町打切分を含む

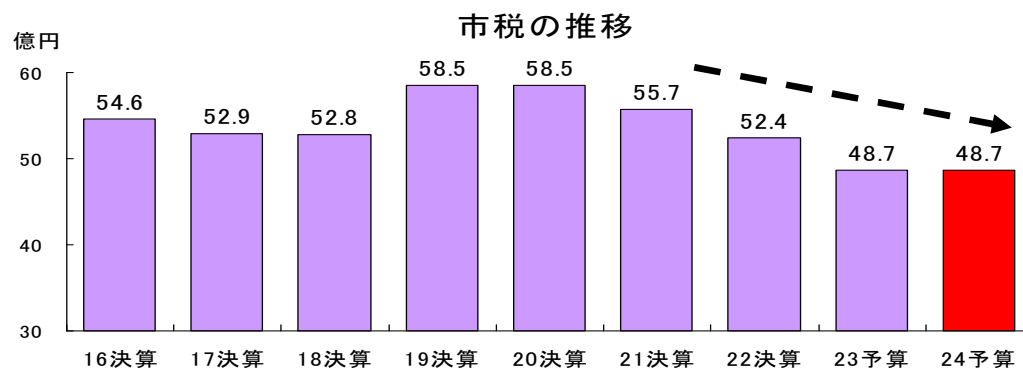
市税の状況

市税総額 48億7,074万円 (H23 48億7,375万円)
 対前年度 Δ 301万円 Δ 0.1%

(主な内訳)

※市民税は増収、固定資産税は評価替えにより減収

・個人市民税	17億4,750万円	(H23 16億3,961万円)	対前年度	1億 789万円
・法人市民税	2億8,707万円	(H23 2億5,931万円)	対前年度	2,776万円
・固定資産税	23億2,101万円	(H23 24億1,652万円)	対前年度 Δ	9,551万円
・市たばこ税	3億2,000万円	(H23 3億6,000万円)	対前年度 Δ	4,000万円



〔参考〕
 地方財政計画（市町村分） 0.8%増

※19年度から、国の三位一体の改革により所得税から個人住民税への税源移譲が実施されたため、18年度以前とは単純に比較できない

基金の状況

24年度末基金現在高見込み(一般会計)

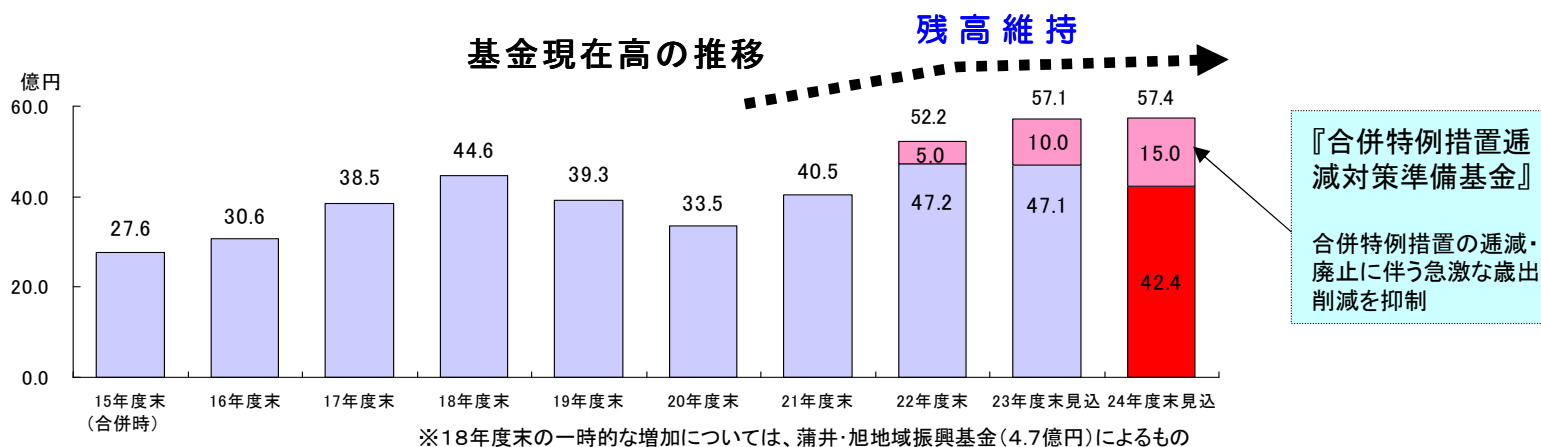
57億4,440万円

(対23年度末 3,026万円、0.5%増)

⇒ ただし、合併特例措置逓減対策準備基金を除いた24年度現在高見込みは、
42億4,402万円 (対23年度末 △4億6,999万円、10.0%減)

※京丹後市発足時から約29.8億円増加

※合併特例措置逓減対策準備基金は、急激な歳出削減の抑制に活用予定



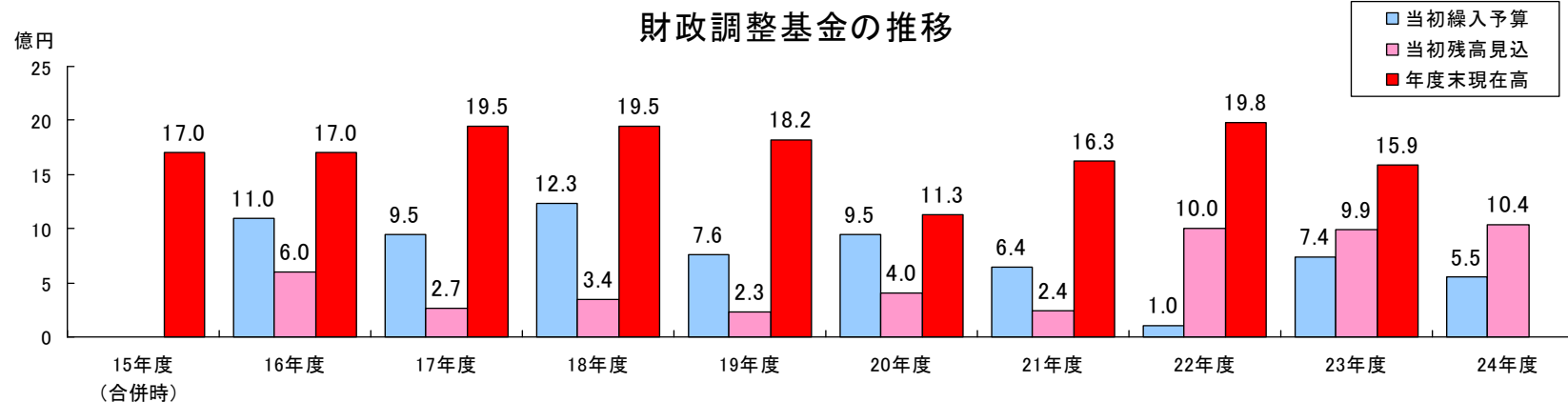
(関連)

財政調整基金の状況

24年度末財政調整基金現在高見込み

10億3,563万円

(対23年度末 Δ 5億4,963万円、 Δ 34.7%)



※15年度は、合併前のため年度末現在高のみを表示
※23年度及び24年度の年度末現在高は、見込み数値

市債の状況

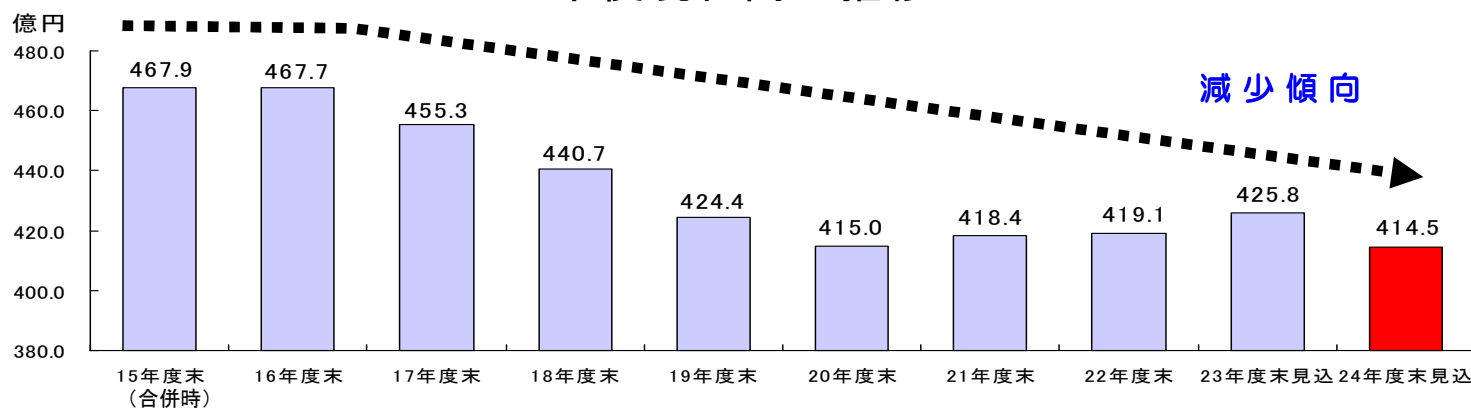
24年度末市債現在高見込み(一般会計)

414億4,536万円

(対23年度末 Δ 11億3,067万円、 Δ 2.7%)

※京丹後市発足時から約53.4億円減少

市債現在高の推移



※20年度末から23年度末見込への増加は、ブロードバンドネットワークや統合保育所など大型の事業実施によるもの。

※23年度末見込は、H24年度への繰越事業の借入予定分10.8億円を含んでいるため、H23決算時には415.0億円と見込んでいる。

投資的経費の動向

24年度投資的経費(一般会計)

27.6億円

<対前年度 △5.3億円、△16.0%>

23年度繰越分の投資的経費

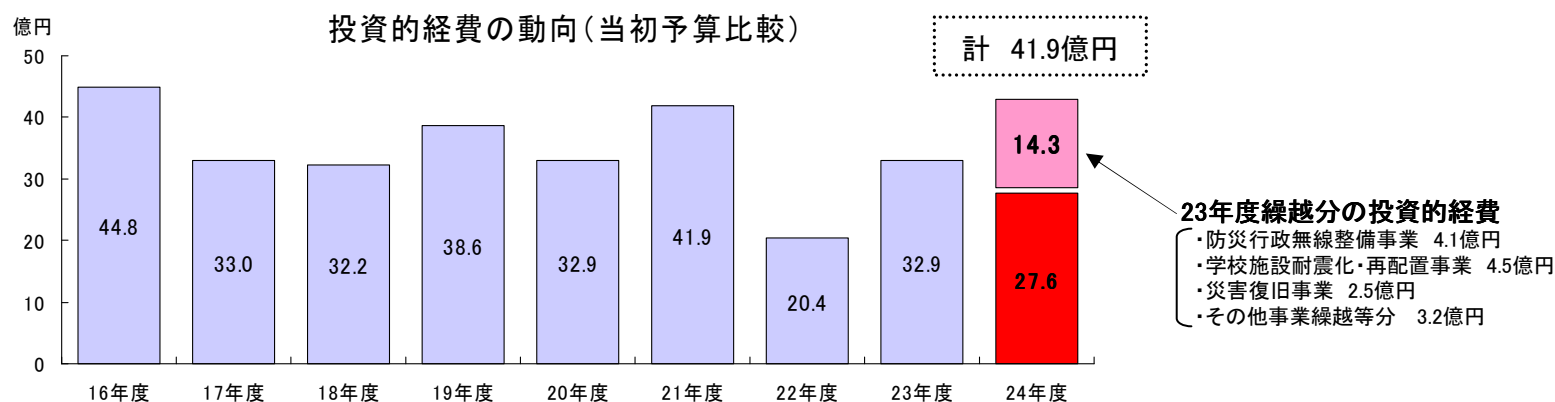
14.3億円

(防災行政無線整備事業 4.1億円、学校施設耐震化・再配置事業 4.5億円、
災害復旧事業 2.5億円、その他事業繰越等分 3.2億円)

【参考】
地方財政計画
△3.6%(実質)

実質的な投資的経費 → 合計 41.9億円

平成24年度当初予算以外の投資的経費として、国の補正予算により平成23年度3月補正で計上する防災行政無線整備事業や学校施設耐震化・再配置事業、また、道路改良事業、災害復旧事業など多額の事業を平成24年度に繰り越すため、平成24年度中に実施する実質的な投資的経費は41.9億円となる。



※16年度は打切決算に伴う旧町繰越分は除く、20年度、24年度は骨格型予算

京丹後市総合計画の基本方針

ひと・もの・ことが行き交う

I 交流経済都市（にぎわい創出プロジェクト構想）

暮らしの中でいのちが輝く

II 環境循環都市（環境先進都市推進プロジェクト構想）

生きる喜びを共有できる

III 健やか安心都市（安心ネットワーク形成プロジェクト構想）

次代を担う若い力が活躍できる

IV 生涯学習都市（学びのミュージアム推進プロジェクト構想）

共に築き、結び合う

V パートナーシップ都市（パートナーシップ推進プロジェクト構想）

災害に強く、快適で暮らしやすい

VI うるおい安全都市（快適・安全・交流都市形成プロジェクト構想）

VII 計画推進のために

I 交流経済都市 (にぎわい創出プロジェクト構想)①

[凡例:◎=新規、○=拡充等、・=継続]

定住の促進

- ・ 中小企業緊急雇用安定助成金 <1,200万円>
- ・ 地域雇用環境整備特別対策事業 <8,833万円>
- ・ 「くらし」と「しごと」の寄り添い支援センター <2,248万円>
- ・ クラインガルテンの管理運営 <293万円>

農林業の
振興

- ・ ふるさと共援活動支援事業補助金 <50万円>
- ・ 里の人づくり事業費補助金 <600万円>
- ◎葉たばこ作付転換緊急対策事業補助金 <64万円>
- ◎農地集積交付金 <360万円>
- ・ 農業団体等育成強化事業補助金 <150万円>
- ・ 認定農業者支援事業補助金 <320万円>
- ◎新規就農総合支援事業補助金 <300万円>
- ・ 水田農業振興補助金 <1,360万円>

I 交流経済都市 (にぎわい創出プロジェクト構想)②

[凡例:◎=新規、○=拡充等、・=継続]

農林業の
振興

- 農地・水保全管理支払交付金事業 <5,367万円>
 - ・経営体育成基盤の整備 <2,395万円>
 - ・農村災害対策整備事業 <8,543万円>
 - ・特定農業用管水路等特別対策事業 <3,007万円>
 - ・森林ボランティアの活動支援 <39万円>

- ◎猟銃購入費補助金 <75万円>
 - ・有害鳥獣の捕獲委託 <2,901万円>
 - ・猪・鹿肉処理施設の運営 <977万円>

漁業・海業
の振興

- ・海業振興事業補助金 <30万円>
- 水産基盤ストックマネジメントの実施 <4,300万円>

商工業の
振興

- ・あんしん借換資金等利子補給 <9,000万円>
- ・信用保証料補助金 <4,800万円>

I 交流経済都市 (にぎわい創出プロジェクト構想)③

[凡例:◎=新規、○=拡充等、・=継続]

商工業の
振興

- ・ 商工業支援補助金 <512万円>
- ・ 企業・工場誘致フェアへの出展経費 <146万円>
- ・ 丹後ファッションウィーク開催委員会補助金 <450万円>
- ・ 新分野・ビジネス開拓の推進支援 <90万円>
- ・ 新事業・ビジネスマッチングの推進支援 <243万円>
- ・ 起業アイデアコンペティションの開催 <111万円>
- ・ 産学連携共同研究等の促進支援 <100万円>
- ・ 工業用地造成事業特別会計繰出金 <1億9,580円>

観光の振興

- ・ 観光サインの製作 <505万円>
- ・ インバウンドの推進 <23万円>
- ・ 観光業等活性化推進事業補助金 <200万円>

I 交流経済都市 (にぎわい創出プロジェクト構想)④

[凡例:◎=新規、○=拡充等、・=継続]

観光の振興

- ・ 歴史街道丹後100kmウルトラマラソン <500万円>
- ・ 「山陰海岸ジオパーク」を生かした観光推進 <1,072万円>
- ・ 観光の魅力づくり推進 <638万円>

京丹後
ブランドの
販売戦略

- ・ 京丹後ふるさと応援団の運営 <144万円>
- ・ 6次産業支援事業補助金 <150万円>
- ・ 特産品ショップ ホッと丹後
(京丹後ブランド チャレンジ ショップ 運営補助) <380万円>

計 8億2,056万円

Ⅱ 環境循環都市 (環境先進都市推進プロジェクト構想)

[凡例: ◎ = 新規、○ = 拡充等、・ = 継続]

自然環境
の保全と
創造

- ・ 地球温暖化防止対策の推進 <133万円>
- ・ 新火葬場建設の設計 <3,120万円>
- ・ 地域循環型農業の支援 <300万円>

循環型社会
の構築

- ・ 地域資源循環の推進 <81万円>

計 3,634万円

Ⅲ 健やか安心都市 (安心ネットワーク形成プロジェクト構想)①

市民主体
の健康
づくりの
推進

- ・ 自殺予防の対策 <203万円>
- ・ 健康づくり推進員の活動支援 <129万円>
- ・ 在宅での健康管理 <334万円>

Ⅲ 健やか安心都市 (安心ネットワーク形成プロジェクト構想)②

[凡例:◎=新規、○=拡充等、・=継続]

市民主体
の健康
づくりの
推進

- ・ 妊婦の健康診査 <2,966万円>
- ・ 発達障害児等早期発見・早期療育の支援 <75万円>
- ・ 総合検診の実施 <1億1,077万円>
- ・ 子宮頸がん等予防接種費用の給付 <7,266万円>

医療保険
制度の一層
の充実

- ・ 子ども医療給付 <1億4,085万円>
- ・ 救急医療体制強化補助金 <200万円>

患者本位
の医療体制
の充実

- ・ 病院事業会計繰出金 <8億4,309万円>
- ・ 医療確保奨学金等の貸付金 <1,260万円>

支えあい、
助けあいの
地域福祉
の推進

- ・ 暮らしの資金貸付金 <600万円>
- ・ 離職者等住宅手当緊急特別措置事業 <176万円>
- ・ 福祉人材の育成 <13万円>

○生活保護面接相談員・受給者支援員等設置経費 <481万円>

Ⅲ 健やか安心都市 (安心ネットワーク形成プロジェクト構想)③

[凡例:◎=新規、○=拡充等、・=継続]

共に生きる
障害者福祉
の充実

・ 障害者就労支援 <117万円>

◎身体・知的障害者相談員の設置 <67万円>

安心して
暮らせる
高齢者福祉
の充実

・ 福祉有償運送事業費補助金 <1,572万円>

・ 高齢者安心生活支援事業 <149万円>

・ 介護予防安心住まい推進補助金 <160万円>

・ 健康大長寿のさとづくり全国大会の開催 <117万円>

計 12億5,356万円

Ⅳ 生涯学習都市 (学びのミュージアム推進プロジェクト構想)①

子育ての
支援

・ 放課後児童健全育成事業 <1億1,676万円>

・ ファミリーサポートセンターの活動 <149万円>

IV 生涯学習都市 (学びのミュージアム推進プロジェクト構想)②

[凡例:◎=新規、○=拡充等、・=継続]

子育ての
支援

◎ひとり親家庭の自立促進計画の第2期計画に向けた
アンケート調査 <17万円>

- ・子どものための手当 <9億8,848万円>
- ・峰山保育所・網野保育所の運営委託 <1億8,978万円>

○子育て支援センターの運営 <1,088万円>

- ・島津保育所の耐震補強 <3,788万円>

学校教育の
充実

- ・学校再配置の推進 <453万円>
- ・不登校対策支援員・教育相談の経費 <309万円>

・学校教育の連携推進 <89万円>

・小中一貫教育の推進 <69万円>

◎小学校給食調理室への空調設置 <3,800万円>

- ・小学校体育館耐震補強工事の実施設計 <870万円>

IV 生涯学習都市 (学びのミュージアム推進プロジェクト構想)③

[凡例: ◎=新規、○=拡充等、・=継続]

学校教育の
充実

・ 神野小学校の増改築 <5億3,073万円>

◎鳥取小学校、高龍中学校増改築等の実施設計 <1,286万円>

◎神野小学校スクールバスの購入 <1,415万円>

○スクールサポーターの設置
(幼稚園・小学校・中学校) <1億145万円>

◎間人中学校校舎の耐震化等 <1億4,379万円>

・ 久美浜中学校の増改築 <2億8,556万円>

・ 学校支援地域本部の運営 <507万円>

社会教育・
スポーツ
の充実

◎スポーツ推進計画中間評価報告書の作成 <157万円>

歴史文化
遺産の保全
と活用

・ 京丹後市史の編さん <1,188万円>

計 25億840万円

Vパートナーシップ都市 (パートナーシップ推進プロジェクト構想)①

[凡例:◎=新規、○=拡充等、・=継続]

地域コミュニティ
の強化

- ・地域振興交付金 <1億2,449万円>
- ・地域まちづくり支援事業補助金 <30万円>
- ・地域振興基金積立金 <5億円>
- ・地域集会施設整備費補助金 <6,095万円>
- ・「地域サポーター」の設置 <332万円>
- ・「水と緑の里づくり支援員」の設置 <439万円>

協働と共創
のまちづく
りの推進

- ・「くらしの支援ガイド」の発行 <89万円>
- ・京丹後コミュニティFM放送委託 <500万円>
- ・市民力活性化推進プロジェクト事業補助金 <650万円>
- ・市民協働のまちづくり事業補助金 <1,900万円>

人権の尊重

- ◎犯罪被害者等の支援 <45万円>

男女共同
参画の推進

- ・男女共同参画セミナーの開催 <48万円>

V パートナースhip 都市 (パートナーシップ推進プロジェクト構想)②

[凡例: ◎=新規、○=拡充等、・=継続]

男女共同
参画の推進

- ◎男女共同参画条例啓発リーフレット作成 <27万円>
- ・女性相談窓口の設置 <83万円>

計 7億2,687万円

VI うるおい安全都市 (快適・安全・交流都市形成プロジェクト構想)①

道路ネット
ワークの整備

- ・道路パトロール事業 <1,108万円>
- ・道路新設改良事業 <1,587万円>
- ・社会資本整備総合交付金事業 <2億7,823万円>
- ・橋梁の長寿命化 <509万円>
- ・除雪機械の購入 <3,570万円>

VIうるおい安全都市 (快適・安全・交流都市形成プロジェクト外構想)②

[凡例:◎=新規、○=拡充等、・=継続]

住宅の供給
と安心できる
住環境の
整備

- ・街なみ環境の整備 <9,130万円>
- ・木造住宅の耐震診断 <144万円>
- ・木造住宅耐震改修費補助金 <630万円>

地域交通
の確保

- ・高齢者運転免許証の自主返納支援 <36万円>
- ・コウノトリ但馬空港利用者への航空運賃助成 <70万円>

上下水道
の整備

- ・水洗化推進支援事業補助金 <1,500万円>
- ・網野地域の内水処理対策 <1億6,781万円>
- ・公共下水道事業特別会計繰出金 <8億円>

防犯・交通
安全の推進

- ・集落内・集落間の防犯灯設置 <540万円>
- ・防犯活動の推進 <117万円>
- 消費生活相談員の設置 <341万円>

VIうるおい安全都市 (快適・安全・交流都市形成プロジェクト外構想)③

[凡例:◎=新規、○=拡充等、・=継続]

消防・防災
体制の強化

◎高規格救急車の更新 <3,200万円>

◎消防・救急無線のデジタル方式移行に向けた
実施設計 <1,419万円>

・東日本大震災災害支援活動補助金 <300万円>

・自主防災組織支援補助金 <88万円>

地域情報化
の推進

○ケーブルテレビでの市政番組の制作 <2,048万円>

計 15億941万円

VII 計画推進のために

[凡例: ◎ = 新規、○ = 拡充等、・ = 継続]

効率的な
行財政運営
のために

- ◎政策討論会議経費 <44万円>
- ◎議場のマイク設備及び議会中継用映像配信システムの更新 <1,833万円>
 - ・「わかりやすいことしの予算」の発行 <107万円>
 - ・合併特例措置逓減対策準備基金積立金 <5億円>
 - ・未利用市有財産の売却等経費 <306万円>
- ◎市長・市議会議員選挙 <6,746万円>
- ◎住民参加型市場公募債の償還 <3億円>

計 8億9,036万円

学校施設耐震化・再配置関連

■学校再配置の推進 <453万円>

学校再配置の計画的実施のため「学校づくり準備協議会」で具体的な調査研究等を進めるとともに、閉校後の施設の利活用検討、閉校に伴う地域での取り組みを支援 ※7つの地域で学校づくり準備協議会を設置（予定）

■小学校・中学校へ学校再配置等専任スクールサポーターを配置 <1,015万円>

学校再配置をより円滑に実施するため、再配置後の拠点校に教員資格のある専任講師を配置

小学校（大宮第二・島津・神野、3人）762万円 中学校（高龍、1人）253万

■小学校施設の整備等 <5億8,788万円>

- ・田村小、湊小の再配置後の拠点校となる神野小学校校舎の増改築工事、既存体育館の解体工事 <5億3,073万円>
- ・丹波小学校、黒部小学校体育館のH25年度の耐震工事のための実施設計 <870万円>
- ・鳥取小学校、高龍中学校のH25年度の校舎増改築工事のための実施設計 <1,286万円>
- ・神野小学校スクールバス購入（46人乗り、1台） <1,415万円>
- ・島津小学校スクールバス車庫建築工事 <1,092万円>
- ・佐濃小学校の仮設校舎借上料 <1,052万円>

■中学校施設の整備等 <4億2,935万円>

- ・間人中学校校舎の耐震化 <1億4,379万円>
- ・高龍中の再配置後の拠点校となる久美浜中学校校舎の増改築工事 <2億8,556万円>

合計 10億3,191万円

（参考）峰山幼稚園仮設園舎（吉原小学校内）での幼稚園教育の実施

合併特例措置逡減等への準備

ポイント

『合併特例措置逡減対策準備基金』

- ◆ 合併後9年目となり、『合併特例期間』も残り3年
- ◆ 合併による財政の特例措置が平成27年度以降は逡減・廃止
- ◆ 平成27年度以降の持続可能な財政運営を目指す。

平成27年度以降の普通交付税等の合併算定替の逡減及び合併特例事業債の適用廃止に伴う急激な市民サービスの低下を抑制するため、合併特例措置終了後の財源構造を想定し、持続可能な財政運営に向けた具体的な取り組みとして「合併特例措置逡減対策準備基金」を継続積立（平成24年度末見込み15億円）

➡ **平成24年度積立額 5億円**（平成23年度と同額）

合併特例措置のある期間において、その一部を基金に積み立て、後年度にその基金を活用することで、削減額の激変緩和と削減期間の実質的な延長を目指す。

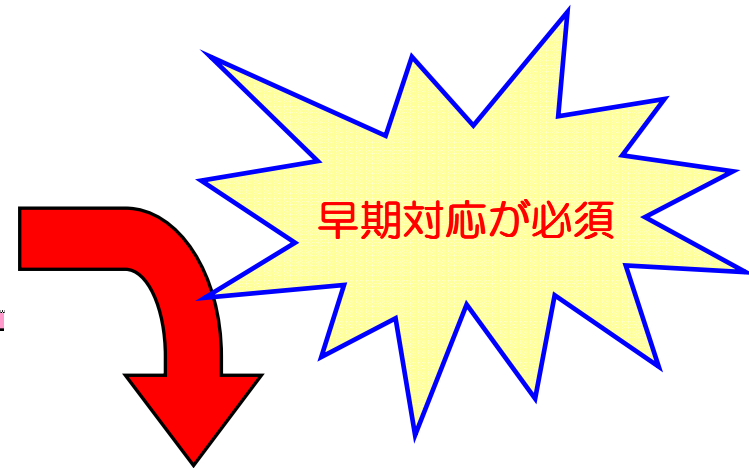
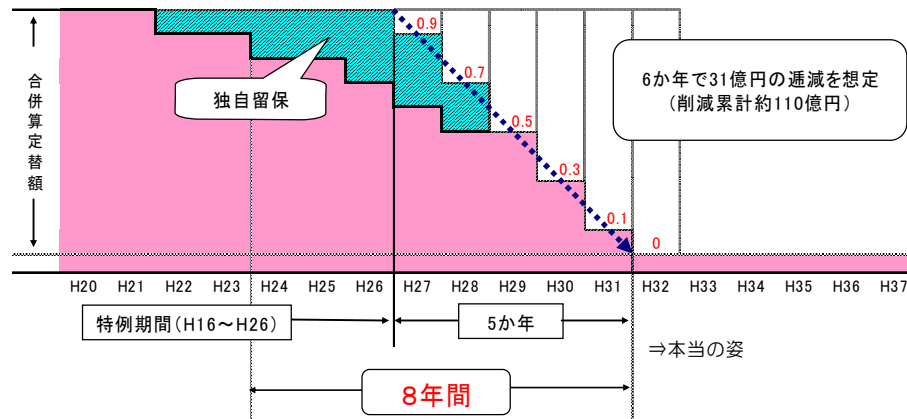
《参考》合併特例措置（合併団体に対する激変緩和のための特例分）の内容

- ◆ 合併特例事業債
平成26年度まで発行可能（充当率：95%、普通交付税算入率：元利償還金の70%）
- ◆ 普通交付税の合併算定替
平成26年度までは合併特例分の全額が交付され、平成27年度から平成31年度までの5年間で段階的に逡減、平成32年度からは本来の交付額となる。
- ◆ 臨時財政対策債発行可能額の合併算定替
普通交付税と同様に平成27年度から平成31年度までの5年間で順次逡減し、平成32年度で特例分はゼロとなる。

合併特例措置逦減等への準備

合併特例措置逦減・廃止への対応イメージ

● 普通交付税合併算定替の逦減イメージ



『合併特例措置逦減対策準備基金』
 ※独自留保分の基金積立
 ↓
 将来へ活用
 歳出削減の激変緩和
 実質的な削減期間の延長
 ※ H24末残高（見込み） 15億円

◎ 早期歳出抑制による歳出激変緩和措置イメージ

